

令和1年度 自己評価結果公表シート

作成：学校法人前島学園 松虫幼稚園

1: 園の教育方針

学校教育法によって幼児を保育し、適切な環境をあたえて生活経験を豊かに総合的に指導し、心身ともに調和のとれた自主的、創造性豊かな発達を助長する事を目的とする。

2: 教育目標

- ・親切そして思いやりのある子ども
- ・心身ともに健康で明るい子ども
- ・考え感じたことを素直に表現できる子ども
- ・くじけず最後までやりぬく子ども

社会生活において必要となる「生きる力」の芽生えと育みを大切に、目標となる子どもの像を見据えた教育を目指す。

3: 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。

4: 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教員の資質向上に向けた取り組み	各種研修会・研究会に参加し、そこで学んだことを職員会議で提供し合い知識や技術の共有化を積極的に行えた。実践経験(年数)の差はどうしても生まれるものであるが、主幹教諭や経験値の高い職員が分野別リーダーとして、教員への教育やアドバイス、意見交換を行える環境を構築し、実際に行うことができた。
教育保育内容の質を高める	年間カリキュラムを振り返り、子どもの成長と教員の見立てと手立て、保育の実態を照らし合わせ、課題点を洗い出しながら、カリキュラムに更新及び追加を行なった。 教職員全体がチームとして機能していくために、積極的に意見交換を行うとともに、互いの保育を見合うことによって、保育・教育方法の指摘やアドバイスしあえる環境ができていた。
施設的环境整備	・高槻で起きたブロック塀倒壊事故を受け、課題としていた老朽化したブロック塀箇所の改築工事に着工した。 40メートル以上のブロック塀を撤去し、新たにフェンスとRC塀で安全性を重視したものを採用した。 ・施設の設備、設置物、遊具等の状況・整備状況のチェックを行い、安全基準に達しているかの確認を適宜実施した。 それらに確認できた欠陥や破損箇所はすみやかに修繕し回復に努めた。
安全管理体制の強化	年間を通した災害訓練、防犯訓練計画を構成し実施。 訓練実施後には対応手順や避難経路等の評価・反省を行い、今後の防災防犯体制強化に繋げた。また園児たちにとっても、避難訓練を通して、生命を守る事の大切さを学び、防災意識を高めることにもつながっている。
保護者ニーズの把握及び支援対策	保護者との懇談を定期的実施し、出された意見に対して、必要なものについては、園の考え方を示し、改善すべきものは考察・検討を重ね改善していった。 ホームページにて日々の保育風景や内容をアップし、それらを在園児や未就園児保護者にも情報を発信していくことで、新たな意見要望等を回収することができた。

5: 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題、特に当年度は外塀改築の工事で懸念されていた安全面を改善し、より安心安全な教育環境を整備することができるようになった。
その他項目については、全職員が積極的に取り組んでおり幼児教育、結果保育の質向上に繋げることができていると考える。

6: 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
安全管理体制の充実化	・2月より揺がりを見せた新型コロナウイルス感染症の影響で、当面幼稚園での感染症対策が求められることから、園児の健康安全を十分に確保できる環境の整備が必要である。(換気、マスク、消毒、日々の健康把握)園医等の医療機関や自治体と連携し、情報共有を図りながら積極的に取り入れ実施する。 ・夏場の暑さ対策を考える(2階ホールの空調設備等)
教職員や保育の資向上	少人数制であるがゆえ、子ども一人ひとりの向き合える保育の充実化を図る。 担任のみでなく、チーム保育の視点を重視し、職員間の情報共有や効率を高めるために連携強化を目指す。
保護者、地域の情報提供	幼稚園の保育内容を今後も継続してブログ等で日々の保育活動を公開、保育の見える化の充実化を図りたい。

7: 学校関係者の評価

関係者による評価は法人役員による委員会を実施。
・子どもの生活のリズムの確立と保護者が育つことの両方が現在も行われていることを評価。
・ブロック塀改築工事等、子どもたちや地域により安全で安心な環境を提供できるようになった。
・園児と教職員との心のつながりを大切にしていると職員の間で感じる姿から感じる事ができた。継続して実践してもらいたい。
・今後も保護者の意見や要望を聞き、思いを受け止めた取り組みをしてほしい。

8: 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。